CL形ボックス　CL type

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。ご使用の前にこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
この説明書は、必ず保管してください。

安全上のご注意

安全にお使いいただくための注意事項を説明しています。必ずお守りください。
なお、有資格者以外の電気工事は法律で禁止されています。

⚠警告	死亡または重傷を招くおそれがある危険な状況を示します。
⚠注意	軽傷または中程度の傷害を招くおそれがある危険な状況および物的損害の発生するおそれがある場合を示します。

お守りいただく内容を次の図記号で区分しています。

⚠ 注意する

🛇 してはいけない

❗ 必ず守る

■施工上のご注意

⚠警告

アースせよ	接地端子を利用して、アース接続を必ず行ってください。感電の原因になります。
❗	十分な強度のある壁面に確実に固定してください。落下・けが・故障の原因になります。
❗	電気工事（設置・施工）は、有資格者が行ってください。故障・感電・けがの原因になります。
❗	電気工事は「電気設備技術基準」および「内線規程」を厳守し、必ず専用の電源回路としてください。故障・感電・けがの原因になります。

⚠注意

⚠ 本製品は屋内用です。屋外では使用できません。

🛇

本製品に落下などの強い衝撃を与えないでください。ヘコミや歪みが発生し、強度の低下の原因になります。

基板への機器取付の際は、機器取付可能質量を超えて取付けないでください。基板が変形・落下し、故障の原因となるおそれがあります。

キャビネットサイズ	機器取付可能質量
ヨコ＋タテ≦500mm	30kg
ヨコ＋タテ＞500mm	50kg

ドアへの機器取付の際は、機器取付可能質量を超えて取付けないでください。ドアが変形し、防水・防塵性能低下の原因になります。

キャビネットサイズ	機器取付可能質量
ボデータテ＜300mm	2kg
ボデータテ≧300mm	5kg

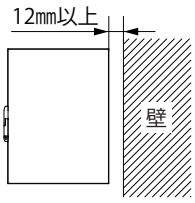
❗

穴加工を行う際は、設置環境に適した施工措置・機器の選定を行ってください。水や埃の浸入により、故障や感電の原因になります。

使用するねじなどは指定されたものを使用してください。取付けの際は、適正締付トルクにて締付けてください。締付が不十分な場合、破損、落下、所定の IP 性能が得られないなどの原因になります。また、締付け過ぎの場合は、ねじ山を破損するおそれがあります。

ねじの呼び	適正締付トルク N･m
M6	2.9 ～ 4.4

キャビネットを壁際に取付ける際は、壁面から 12mm 以上離してください。ドアが開かなくなります。



ドアの上下部に輸送時用のブッシュが取付けてあります。設置後は取外してください。

■使用上のご注意

⚠警告

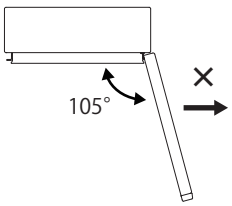
🛇

次のような場所では使用しないでください。故障・感電・火災の原因になります。
- 可燃性ガスのある場所
- 可燃性ガスが漏れるおそれのある場所
- 常時高湿となる場所
- 有機溶剤のかかる場所
- 腐食性ガスのある場所
- 導電性粉塵（カーボン繊維、金属粉）のある場所

本製品の故障が原因で人命並びに社会的に重大な影響を与えるおそれがある場所（医療関係、航空宇宙関係など）には使用しないでください。

⚠注意

指に注意	ドアの開閉時に指を挟まないでください。けがの原因になります。		ドアの開閉角度は約 105°です。ドアを開けた状態で右図の矢印方向にさらに荷重を掛けないでください。蝶番部およびドアの変形・破損の原因になります。
	太陽光を受ける場所で、長時間ドアを開けたままにしないでください。パッキンの劣化により、キャビネットの保護機能低下の原因になります。		
	長時間、水やオイルなどが掛かり続ける場所では使用しないでください。パッキンの機能が低下し、浸水するおそれがあります。		



■塗替えのご注意

⚠注意

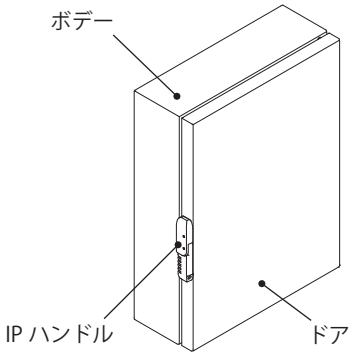
塗替えの際は以下の注意事項をお守りください。お守りいただけない場合、キャビネットの防水・防塵性能を低下させる原因となります。必要性能を満たさない場合、水や埃の浸入により、故障・感電・けがのおそれがあります。

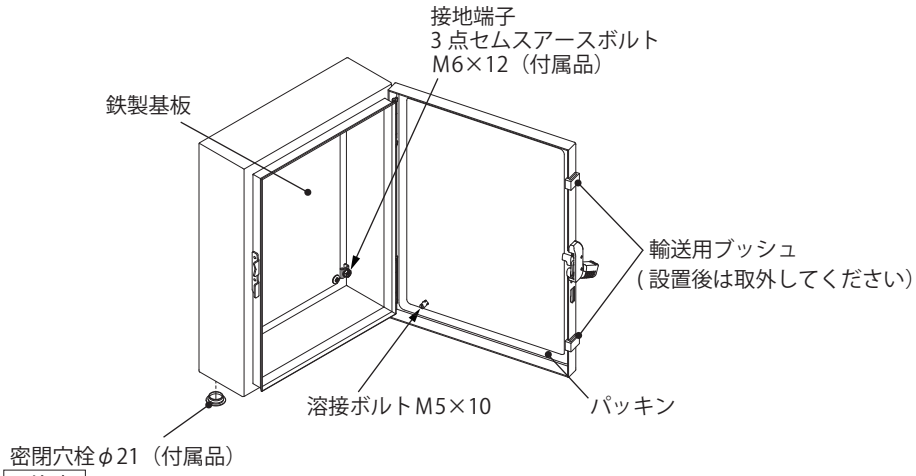
・パッキンに塗装をしないでください。防水、防塵性能の劣化とともに、パッキン部からの塗装屑が故障、感電、けがの原因になります。

・パッキンを剥がさないでください。代用品をご用意いただいても、防水、防塵性能を保持できません。

ご注意
・汚れやケガキ線を拭き取る際は、やわらかい布で軽く拭いてください。
・汚れやケガキ線を拭き取る際は、目立たない場所で塗装面が傷まないことを確認してください。
アルコールやベンジンなどの溶剤をご使用になると、塗装面が傷むおそれがあります。

■各部の名称





ご注意
ボデー外側より確実に押込んでください。
取外しは内側より押出して外します。

●付属品

部品名	数量
密閉穴栓 φ21	1 コ
3 点セムスアースボルト M6×12	1 コ
取扱説明書（本紙）	1 部

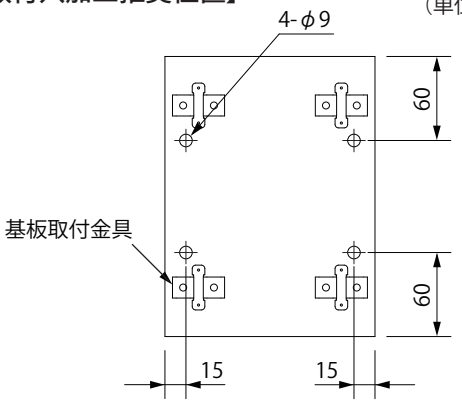
■取付方法

キャビネットを設置する際は、ボデー背面に穴加工した後に取付けてください。

ご注意
鉄製基板や基板取付金具を避けた位置に穴加工してください。

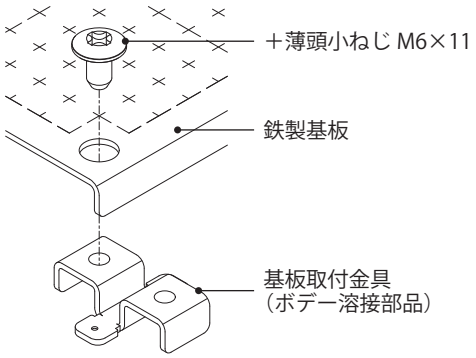
【取付穴加工推奨位置】

（単位：mm）



■鉄製基板の取付方法

鉄製基板を取外し、再度取付ける際には下図のように取付けてください。



キャビネットサイズによって、対角 2 ヵ所止めと
4 ヵ所止めがあります。

キャビネットサイズ	基板取付
ヨコ＋タテ≦500mm	対角 2 ヵ所止め
ヨコ＋タテ＞500mm	4 ヵ所止め

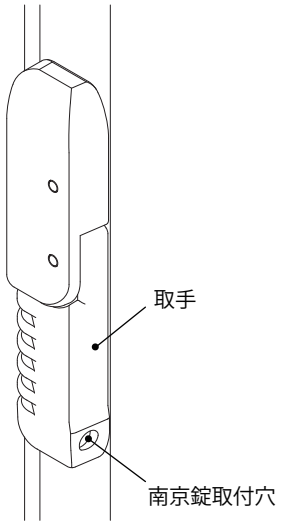
⚠注意

使用するねじなどは指定されたものを使用してください。取付けの際は、適正締付トルクにて締付けてください。締付が不十分な場合、破損、落下、所定の IP 性能が得られないなどの原因になります。また、締付け過ぎの場合は、ねじ山を破損するおそれがあります。

ねじの呼び	適正締付トルク N･m
M6	2.9 ～ 4.4

■ドアについて

●ハンドル詳細



●開け方

1. 取手を持ち、引上げてください。（図1）
2. 取手を手前に引くことでドアが開きます。（図2）

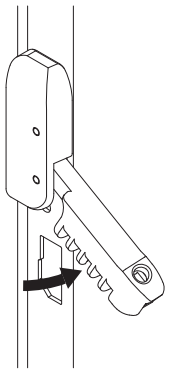


図1

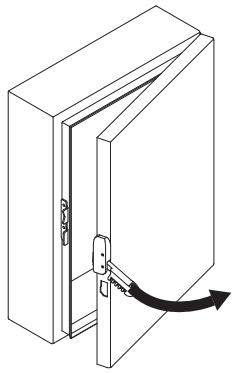
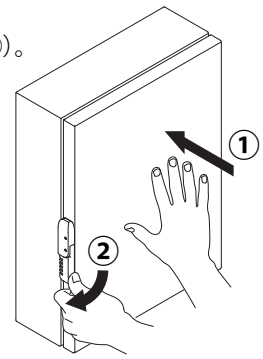


図2

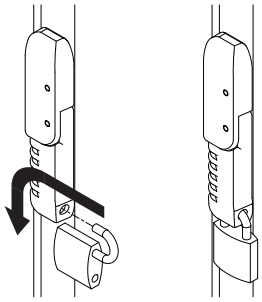
●閉め方

1. ドアを閉めてください。
2. ドアをボデーに押付けながら（①）、取手を押込んでください（②）。



●施錠方法

南京錠をハンドル下部の取付穴に引掛けて施錠してください。
南京錠は、ツル径φ4.5～5のものをお使いください。



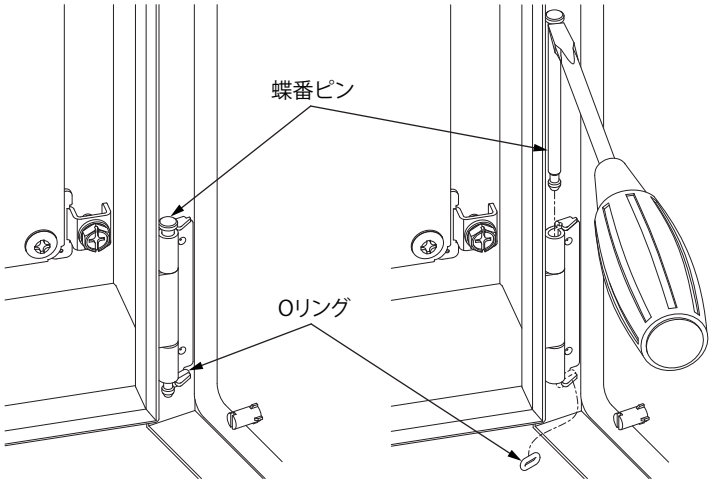
⚠注意

指に注意

ドアの開閉時に指を挟まないでください。けがの原因になります。

●ドアの取外方法

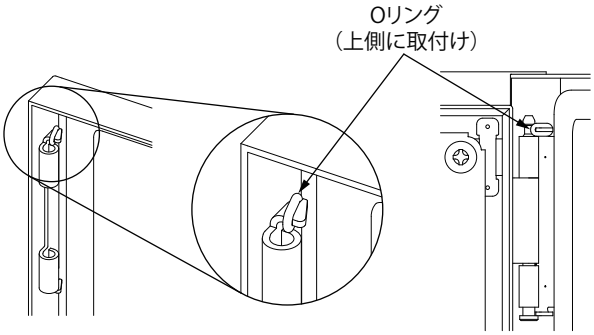
1. (－) ドライバーを蝶番ピンの頭部に押当てて引抜いてください。
   外れにくい場合は、(－) ドライバーを押当てたまま
   ハンマーで叩いてください。
2. 塗替えの場合は、Oリングを取外してください。



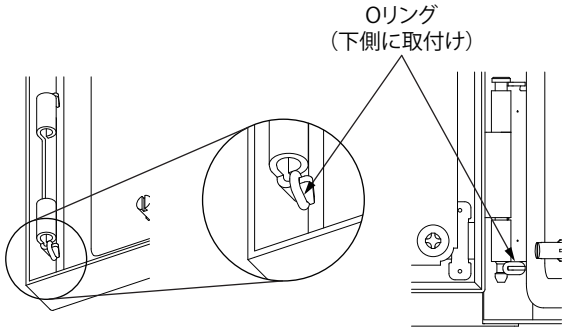
●ドアの取付方法

ドアを再び取り付ける際は、蝶番ピンおよび O リングを下図の通りに取付けてください。

ご注意　O リングは蝶番ピンを差込む前に取付けてください。



ドア上側



ドア下側

■推奨する塗替方法

・ドア内面全体に塗料を付けないでください。もしくは、パッキンをマスキングしてから塗装してください。

ご注意　パッキンのマスキングには、粘着力の弱いマスキングテープを使用してください。
粘着力が強いテープでは、剥がす際にパッキンの表面が破れるおそれがあります。
一般的なセロハンテープより弱い粘着力を目安にしてください。

・焼付塗装を行う場合、耐熱性があり、熱固着しないマスキングテープを使用してください。

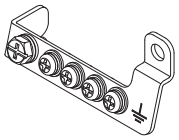
ご注意　条件を満たさないマスキングテープでは、剥がす際にパッキンの表面が破れるおそれがあります。

・マスキングには、オプションの「パッキン用マスキングテープ」のご利用をおすすめ致します。（「■オプション」を参照）

■オプション

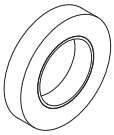
●増設アースバー【BP46-5AC1】

接地端子の増設にご利用ください。



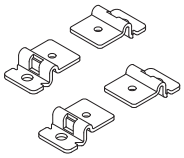
●パッキン用マスキングテープ【BP11-23MT】

塗替塗装時のパッキンのマスキング用としてご利用ください。



●取付金具【CX-1M】

キャビネットの壁面への取付けにご利用ください。



お問合わせ先

ご不明な点がありましたら弊社お客様相談センターにお問合わせください。

TEL（0561）64-0152

〈受付時間〉9：00 ～ 12：00、13：00 ～ 17：00（土・日・祝日は休み）

• お客様からご提供いただいた個人情報は、商品の修理やご相談への対応、および情報の提供に利用いたします。
• 利用目的の範囲内で、グループ各社と共同で利用させていただく場合があります。
• 個人情報はあらかじめ本人の同意を得ないで、第三者に提供することはいたしません。

本製品の故障や瑕疵により、当社の予見の有無を問わず生じた二次損害について、当社は一切の責任を負いかねます。
仕様など、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。

2026年6月
B803012930
SK-050F

NITTO KOGYO
©NITTO KOGYO CORPORATION

日東工業株式会社
〒480-1189 愛知県長久手市蟹原 2201 番地